

普及活動情勢報告（令和8年8月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

今作を振り返ろう ～J A香美地区ピーマン部会反省会～



経営について学ぶ生産者

7月22日、香南市においてJ A高知県香美地区ピーマン部会反省会が開催され、生産者20名が参加しました。

農業改良普及課は、病害対策、熱中症・農作業事故対策及び経営について研修を行いました。経営については、決算書を用いた経営評価の方法や雇用費を例に経費が増えた場合に所得維持に必要な収量のシュミレーションを示しました。

生産者からは、規模拡大のタイミングについても質問があり、個々の農家の経営や家庭状況に合わせての計画作成が必要なので個別に相談してもらいたいと回答しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、生産者の目標達成に向けて普及活動に取り組んでいきます。

黒枯病対策できていますか？ ～中央ししとう部会反省検討会～



新包装形態についての
説明を聞く部会員

7月28日、J A土長宮農経済センターで中央ししとう部会反省検討会が開催され、部会員11名が参加しました。

農業改良普及課は、環境データを活用した黒枯病対策試験の結果報告を行いました。J Aからは、管内各部会で協議を続けていた袋包装機械導入についての進捗、今後の協議事項が共有されました。

参加者からは、SAWACHIの病害予測機能や農薬について質問や意見が出され、黒枯病対策に関心が高いことがうかがえました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、病虫害対策を部会などで共有し、ししとうの安定生産に向けて生産者を支援していきます。

高品質グレープフルーツの生産に向けて ～グレープフルーツ現地研修会～



現地研修会の様子

7月28日、J A高知県香美地区果樹部がグレープフルーツ現地研修会を開催し、農家2名が参加しました。

農業改良普及課は、摘果基準や着色促進のための栽培管理方法等を説明しました。

生産者からは「輸入果実との差別化を図るために、高品質果実を目指すことが必要」といった意見が出され、高品質化に向けて活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、国産グレープフルーツの高品質化に向けて支援します。

農作物の安定生産に向けて ～蕪生の里栽培講習会～



熱心に話を聞く組合員

7月31日、JA高知県香北支所において協同組合蕪生の里が道の駅美良布の直販店に出荷する生産者を対象に栽培講習会を開催し、生産者20名が参加しました。

農業改良普及課は、秋播き野菜の病害防除、高温対策、農作業安全について説明しました。

生産者からは「地温抑制には朝かん水と夕方かん水とどちらが効果的か」「光合成に影響のない遮光とはどれくらいか、基準はあるのか」といった質問がありました。

農業改良普及課は、今後も農産物の安定生産を支援していきます。

「現場から届ける」を形に ～県外消費者向けオンラインツアーの構想～



青年農業士に説明する
普及指導員

8月4日、青年農業士中央東ブロック協議会が定例会を開催し、青年農業士3名が参加しました。

農業改良普及課は、県外の消費者を対象に実施するオンライン収穫体験ツアーと高温対策の現地見学会について説明しました。

参加者からは、産地や旬の品目のPRのために「収穫シーズンのハウスみかんをお土産に渡そう」との意見が出され、県外消費者に産地への理解を深めてもらうための意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、拠点農家の育成に向けて支援していきます。

グッバイ土壌病害！ ～ピーマンの蒸気消毒実証～



消毒作業の準備中！

8月6～8日、南国市のピーマンほ場において、南国市営農改善会野菜花き部会による蒸気消毒の実証試験が行われました。

農業改良普及課は、前作でPMMoVによるウイルス病が発生したほ場の対策として、蒸気消毒の実施と、定植時に苗を紙で包んでウイルス接触を防ぐ「紙包み法」を提案しました。

生産者からは「病害を減らすためにできることはやりたい」と前向きな意見が聞かれ、実施につながりました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、対策による効果を確認するとともに、農家の課題解決に向けた提案を行っていきます。